

霞ヶ関フィルハーモニー 管弦楽団

第16回 定期演奏会



2016年10月22日(土)

14:00 開演(13:30 開場)

場所: 練馬文化センター 大ホール

モーツァルト / 歌劇「フィガロの結婚」序曲

W.A. Mozart / Overture to "The Marriage of Figaro", K.492

ビゼー / 「カルメン」第1組曲・第2組曲

G. Bizet / "Carmen Suites" No.1 and No.2

ドヴォルザーク / 交響曲第9番「新世界より」

A. Dvorák / Symphony No.9 in E minor "From the New World", Op.95

指揮 高橋 隆元

入場無料・入場券不要・全席自由

就学前のお子さまの入場はご遠慮ください。

お問い合わせ先 concert_kasumiphil@yahoo.co.jp

公式ウェブサイト <http://kpo.nomaki.jp>



霞ヶ関フィルハーモニー管弦楽団(通称「霞フィル」)は、2004年に発足したオーケストラです。

母体となる団体、大学オーケストラ等とはとくになく、幅広いバックグラウンドを持つ様々な年代の団員が50名ほどで活動しております。



指揮者紹介 高橋 隆元

15歳より独学でピアノ及び音楽理論を学ぶ。

その後、国立音楽大学ピアノ調律科に入学、在学中よりピアノ演奏活動の他、指揮活動を開始。音楽理論を島岡譲、オーボエを協岡総一に師事。

卒業後も調律の仕事の傍ら演奏及び指揮活動を続けていたが、31歳の頃より本格的に指揮の勉強を始める。指揮をクルト・レーデル、高階正光、湯浅勇治(年齢順)の各氏に師事。東京指揮研究会会員。

1999年、日独楽友協会主催の指揮者講習会において優秀賞受賞、同年ウィーンで行われた「指揮マスターコース」に招待され参加。ディプロム獲得。

2000年3月30日に三鷹市芸術文化センターで行なわれたドイツ連邦共和国大使館後援のシンフォニッシェ・アカデミー・トーンキョー『ベートーヴェン交響曲連続演奏会』で交響曲第2番、第4番、その他を演奏し、好評を博す。

同年8月、ハンガリーのブダペストで行われたクルト・レーデル国際指揮者コンクールに於いて第3位受賞。受賞者記念コンサートにおいてプロコフィエフの古典交響曲を指揮した。

9月にはハンガリーのブダフォークホールでの演奏会に客演、ドホナーニ交響楽団を指揮し好評を得る。

クルト・レーデル氏からの要望により、氏の著書である「指揮のテクニック」(音楽之友社)のフォトモデルに選ばれる。

1998年より9年間にわたり、武蔵野室内アンサンブルの常任指揮者をつとめ、在任中の第10回記念定期演奏会ではきららホールにおいてモーツァルトのピアノ協奏曲20番K.466を弾き振りし好評を博した。

他にも20余団体で指揮を、またオペラ分野では東京シティオペラ協会においてモーツァルト「魔笛」、ヴェルディ「リゴレット」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、等のアシスタントを務めた他、2009年1月より5年間 聖光学院管弦楽団音楽監督、2010年4月より三鷹市管弦楽団音楽監督にそれぞれ就任し各楽団の発展に寄与している。



会場案内

◆西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線 練馬駅北口から徒歩1分

- ・会場には車椅子席がございます。ご利用の場合は、事前にご連絡ください。
- ・就学前のお子さまの入場はご遠慮ください。
- ・小学校低学年のお子さまをご同伴のお客さまは、必要に応じ出口に近い席にお座りいただき、お子さまが静かに聴いていられなくなってしまうような場合は、一旦ご退席の上ロビー等でご休憩をお願いいたします。

